

お客様各位

## InfoWorks 関連製品の販売開始に関するご案内

平素は、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、InfoWorks 製品シリーズに関して、InfoWorks ICM Sewer と ICM Flood の販売が開始されました。また、リアルタイム解析を行う ICMLive、IWLIVE Pro についても Autodesk 社の製品として正式販売が開始されましたので、下記のとおりご案内させていただきます。

尚、ICM Sewer プログラムは、これまで InfoWorks ICM Standard という名称で販売されていた製品であり、河川・下水道管網の一次元解析を対象とするものとなります。InfoWorks ICM Flood は、二次元不定流解析を対象とする製品となっております。詳細については、以下をご確認ください。

### 1. InfoWorks ICM Sewer 製品の概要

InfoWorks ICM Sewer（スウワー）は、一次元解析を対象としており、河川・下水道管網内の流下状況を計算することに特化した製品となっております。樋門操作の検討等、溢水の広がりをも面的に計算する必要がない場合等にお使いいただくことが可能です。InfoWorks ICM については、河川・下水道管網の一次元解析機能に加え、地表面上に溢れた水の広がりを計算する二次元解析機能が搭載された ICM Ultimate が一般的に国内で広く導入されております。この Ultimate から二次元解析機能をほぼ取り除いたのが ICM Sewer となります。

InfoWorks ICM Sewer には、機能評価を目的として、1,000 メッシュまでの二次元解析が可能となっております。（メッシュとは、二次元解析を実施するにあたり地形標高データから作成していただくものとなります。メッシュの大きさについては、お客様がご自身で定義可能となっております。）

InfoWorks ICM Sewer は、InfoWorks ICM Ultimate v 2026.2 と同一インストーラからインストールが可能です。また、それぞれライセンスをお持ちであれば、Ultimate と Sewer を切り替えてお使いいただくことが可能です。（同時使用することはできません。）

## 2. InfoWorks ICM Flood の概要

InfoWorks ICM Flood（フラッド）は、二次元不定流解析に特化した製品であり、地表面上に溢れた水の広がりを面的に解析することを目的に開発された製品となります。下水道管網や河川のモデリングについては、機能評価を目的に 1,000 ノードまで可能となっております。簡易モデル等、地表面上の水の広がりを二次元解析したいという場合にお使いいただける製品となります。

InfoWorks ICM Flood のインストーラは、InfoWorks ICM Ultimate v 2026.2 と同一となります。また、それぞれライセンスをお持ちであれば、Ultimate と Flood を切り替えてお使いいただくことが可能です。（同時使用することはできません。）

## 3. ICMLive の概要

ICMLive（アイシーエムライブ）は、InfoWorks ICM にて構築されたモデルを利用して、リアルタイム解析を行うための製品となります。気象レーダや水位計、ポンプ等の稼働情報を取込み、24 時間 365 日、一定周期でリアルタイム解析を行います。各種閾値の設定が可能となっており、例えば浸水が予測される場合等、担当者にメールを自動送信することが可能です。

ICMLive については、これまで Innovyze 社の製品として提供されておりましたが、この度、Autodesk 社の製品として新しく販売されることとなりました。製品のインターフェースや機能については、これまでと変わりませんが、ライセンスの認証方法が変更となり、現状はインターネット認証を必要とする Thales（タレス）ライセンスでのご提供のみとなっております。

また、製品体系についても若干変更となり、結果閲覧用プログラム ICMLive Operator が完全無償提供となりました。このプログラムについては、InfoWorks ICM Ultimate 2026.1 以降をインストールすると、一緒に自動インストールされるようになっております。このプログラムについては、完全無償となりますが、Autodesk アカウントを用いて認証していただく必要がございます。ICMLive に関して詳細がご入用な方は、弊社までお気軽にお問い合わせください。

## 4. IWLIVE Pro の概要

IWLIVE Pro（アイダブリュプロ）は、InfoWorks WS Pro にて構築された上水道管網モデルをベースにリアルタイム解析を行うためのシステムです。配水池の水位や管内流量、構造物の情報などをリアルタイムで読み込み、一定周期でシミュレーションを行います。平常時は、上水道管網の配水状況のモ

ニタリングや施設の最適化に使用することが可能であり、非常時にはその状況を瞬時に計算するだけでなく、考え得る対策案まで容易に解析することが可能となっております。これまで熟練オペレータの勘と経験に依存してきた必要な局面での意思決定を大きく支援します。ピーク時のみではなく、期間でのシミュレーションが可能なため、変動する水需要に対する水圧の変化を見ていただくこと等が可能です。

IWLive Pro についても ICMLive 同様、Autodesk 社の製品として正式販売が始まりました。こちらでも製品のインターフェースや機能については、これまでと変わりませんが、ライセンスの認証方法が変更となり、現状はインターネット認証を必要とする Thales（タレス）ライセンスでのご提供のみとなっております。

また、製品構成が若干変更となり、結果閲覧用プログラム IWLive Pro Operator が完全無償提供されるようになりました。

## 5. ICM Sewer、ICM Flood、ICM Ultimate の機能比較

下表は、InfoWorks ICM Sewer、Flood、Ultimate の機能を比較したものとなります。ご確認ください。

	従来の製品構成		今後の製品構成		
	Standard	Ultimate	Sewer	Flood	Ultimate
フラグ機能やバージョン管理機能	○	○	○	○	○
GIS からのデータインポート/エクスポート	○	○	○	○	○
シナリオ分析機能	○	○	○	○	○
1D での下水道管網/河川統合モデリング	○	○	○	ノード数 上限 1,000	○
2D メッシュ生成と 2D シミュレーション	メッシュ数 上限 1,000	○	メッシュ数 上限 1,000	○	○
1D・2D 統合モデリング	メッシュ数 上限 1,000	○	メッシュ数 上限 1,000	ノード数 上限 1,000	○
クラウドデータベースの利用	○	○	○	○	○
複数ユーザーによるデータベースの共有と編集	×	○	×	×	○
気象レーダの読込や外部データベースとの接続機能	×	○	×	×	○
ICM Exchange API の利用	×	○	×	×	○



本件に関して価格やサポートサービス等ご質問等ございましたら、下記お問い合わせ先までお問い合わせください。

今後とも、InfoWorks 製品をご愛顧いただくようお願い申し上げます。

[お問い合わせ先]

株式会社江守情報 WS ソリューション部ビジネス推進課

（福井本社）奥田 町井 五十嵐

（東京支店）都丸

Email: [iw-support@i-emori.co.jp](mailto:iw-support@i-emori.co.jp)

TEL： 0776-23-6251（福井本社）／ 03-6801-5910（東京支店）